

**ぱれっとJOYO**  
 (男女共同参画支援センター)  
 電話(54)7545、Fax(55)5601  
 Eメール:shiminkatsudo@city.joyo.lg.jp

**気になる！  
わたしたちの  
暮らし講座**

怒りイラ立ち！なぜ？  
ハラスメント、虐待  
を考える！

▼日時 12月7日(日)  
午後1時～4時 ▼場  
所 ぱれっとJOYO  
▼定員 先着10人  
▼費用 無料 ▼企画実  
施 お父さんのひとり  
言

番号、アクセス、メー  
ルを明記し、アクセ  
ス・メールまたは電話

**パパと子どもの  
あそびヤッホー  
倶楽部**



冬の森でまるごとクリ  
スマス〜タッチオーブ  
ンでローストチキン〜  
▼日時 12月23日(祝)  
午前10時～午後2時30  
分 ※雨天決行。荒天中



五里ごり館  
(歴史民俗資料館)  
☎(55)7611  
No.324

**昔のこどもの  
着ていたもの**



▲女児用袷道行

五里ごり館(歴史民俗資料館)  
には、大正時代から昭和30年代ま  
での着物が所蔵されています。今  
回はそこから、子どもの着物に  
ついてご紹介します。

地域によって多少異なりますが、  
おおよそ昭和20年代頃までは、家  
族の着るものや布団は、家々で女  
性が仕立てました。戦前までは家  
で機織りをして生地を用意し、紺  
屋で染めてもらっていました。が、  
機織りをしなくなってきたら呉服  
屋や行商で布を買っていました。  
赤ちゃんの産着は、ガーゼや晒  
寒い季節はネルの布を用いて母親  
とその実家の母とで準備されまし  
た。歩くようになると紐が身頃に  
ついた丈の短い着物を着せ、3歳  
になるとヒモオトシと称して、紐  
のついた着物から、三尺帯や兵児  
帯を締める着物にかわりました。  
学校に通うようになると、女の  
子は元禄袖、男の子は筒袖の緋や  
木綿の着物に前掛けをして、藁草  
履を履いて学校へ行きました。冬  
になると着物の上に綿入りのハン

テンやデニチなどを着ました。  
大正15年の青谷小学校1年生  
の写真では、子どもたちは全員着  
物を着ています。男の子は25人  
9人が学生帽を被っており、女の  
子は着物の上に袴をつけています。  
同じ青谷小学校の昭和4年の1年  
生の写真では、男の子16人中11人  
が、女の子は20人中6人が洋服に  
なっています。ほんの数年で、子  
どもの服装が着物から洋服へと急  
激に変化していることがうかがえ  
ます。

上の写真は、2〜3歳くらいの  
女の子が着たと思われる道行(着  
物のコート)で、昭和初期頃の  
ものと思われます。背縫いのない  
一つ身で仕立てられ、紫地に菊と  
手毬の模様とても可愛らしいも  
のです。七五三やお正月に着せた  
ものでしょうか。

**お知らせ** 平成27年1月から「市史の散歩道」は1日号から15日号へ変更になります。 問秘書広報課☎(56)4051

**排水設備指定工事業者を新規指定**  
排水設備工事は必ず指定工事業者で行ってください。  
※見積もりは複数の業者に依頼できます

業者名	所在地	電話番号
俺達の(株)	京都市伏見区久我御旅町 1-2	075(204)4498

問下水道課☎(52)2057

**第3回 城陽市国民文化祭記念事業**  
**『京都和太鼓フェスティバル in 城陽』**

和太鼓を楽しむ団体が集い、その魅力を広くアピールし、城陽に和太鼓の文化を根付かせることを目的とし、開催しています。和太鼓のダイナミックな音の響きを、ぜひお聞きください！

▶日時 12月14日(日)12:30開場・13:00開演 ▶場所 文化  
パルク城陽 プラムホール ※申込不要・無料  
問国民文化祭記念事業和太鼓実行委員会(文化体育振興課内)  
☎(56)4047

**12月4日～10日は  
人権週間**

みんなで築こう  
人権の世紀  
〜考えよう 相手の  
気持ち 育てよう  
思いやりの心〜

**街頭啓発を実施**  
人権を尊重し、その  
大切さを知っていただ  
くため、街頭啓発を  
実施し、啓発物品を配布  
します。

▼日時 12月4日(木)  
午後4時～5時 ▼場  
所 アル・プラザ城陽  
玄関前など  
問山城広域振興局☎  
(21)2049、市民  
活動支援課☎(56)40  
01

**「在宅で要介護者を介  
護している人に激励金  
をお届けします」**

市社会福祉協議会と  
府共同募金会城陽地区  
支会では、在宅で要介  
護者を介護している人  
に、歳末たすけあい募  
金を活用し、激励金と  
してお届けします。

▼対象 市内在住で、  
市社会福祉協議会と  
府共同募金会城陽地区  
支会では、在宅で要介  
護者を介護している人  
に、歳末たすけあい募  
金を活用し、激励金と  
してお届けします。

12月1日現在、在宅で  
要介護者(介護保険の  
要介護認定で要介護  
3・4・5と認定され  
た40歳以上の人)を介  
護している人  
申・問12月5日(金)ま  
でに、地域の民生児童  
委員または社会福祉協  
議会☎(56)0909  
へ ※原則、同居。介  
護保険証で要介護度を  
確認させていただく場  
合あり

止 ▼場所 友愛の丘  
▼内容 森のクリスマス  
スクッキング&クリスマス  
マスクラフトほか ▼  
対象 おおむね2歳〜  
小学生の子とその父  
親・祖父などの男性  
▼定員 先着15組 ▼  
費用 親子800円  
(追加1人350円)  
※施設・駐車場代別途  
19日以降のキャンセル  
は参加費をいただきます  
▼講師 K+キッ  
ズ商会 こたやん  
▼持ち物 軽食、軍手、  
飲み物、おわん、スプ  
ーン、お皿、お箸  
申12月2日(火)から、  
件名「ヤッホー倶楽部  
12・23申込」、参加者  
の氏名(ふりがな)、子  
どもの年齢と性別、住  
所、電話番号、アレル  
ギーのある人はその食  
品名を明記し、アクセ  
ス・メールまたは電話

**市民教養講座**  
お正月いけ花教室  
〜玄関花で、すがすが  
しいお正月を迎えられ  
るよう〜

▼日時 12月25日(木)  
午前10時～11時30分  
▼場所 文化協会 ▼  
費用 2,800円 ※  
材料費含む ▼講師  
茶華道連盟 ▼持ち物  
花はさみ、包紙  
申・問12月17日(水)必  
着で、往復ハガキ(返  
信用には申込者の宛先  
を記入)に住所、氏名  
電話番号、「お正月花

**「受講者募集」  
くらしに生かす  
通信講座**

消費生活についての  
基礎的な知識を家庭で  
学び、毎日のくらしに  
役立てる講座を開講！  
今年度は「決済方法  
(おかねの払い方)」に  
ついて学習します。生  
活を送るうえで、お金  
を支払う場面はたくさ  
んあります。多様化し  
た決済方法をしっかり

教室」と明記し、城陽  
市文化協会 ☎610-0121  
寺田樋尻48-19、☎(55)  
12110へ郵送また  
は電話か直接

と学習し、賢い消費者  
を目指しましょう！  
講座終了後に修了証  
書と「くらしの豆知識  
2015」を呈しま  
す。

▼期間 12月中旬〜平  
成27年1月下旬 ▼対  
象 市内在住の人 ▼  
定員 先着20人 ▼費  
用 無料 ※演習問題の  
解答用紙と質問票の提  
出に必要な切手代は実費  
申・問12月3日(水)〜  
15日(月)消印有効でハ  
ガキに住所、氏名、電  
話番号を明記し、城陽  
市役所商工観光課 ☎  
610-0195(住所記入不  
要)、☎(56)4018  
へ郵送または電話

**実施中**  
**『特別年末警戒・年末警戒』**

消防署・消防団では、1〜27日まで特別  
年末警戒、28〜30日まで年末警戒を実施し  
ます。慌ただしいこの時期、火事を出さない  
ため火の元を点検しましょう。

**「住宅防火 7つのポイント」**

①寝たばこは絶対やめる ②ストーブは、燃  
えやすいものから離れた位置で使用する ③  
ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず  
火を消す ④逃げ遅れを防ぐために住宅用火  
災警報器を設置する ⑤寝具・衣類・カーテ  
ンからの火災を防ぐために、防災品を使用す  
る ⑥火災を小さいうちに消すために、住宅  
用消火器などを設置する ⑦お年寄りや身体  
の不自由な人を守るために、隣近所の協力体  
制をつくる 問消防本部☎(54)0115